

自分で作ってみよう！「大切にしたい親の心構え集」 まめ本

＜プリントアウトして、切って、折りたたんで作ってみよう！＞

豊かな人間性を育むうえで重要とされる幼児期の子どもを持つ皆さんを応援するため、平成20年度に子育てで大切にしている心構えや方針を多数お寄せいただきました。

そのいくつかを「まめ本」にまとめましたので、ぜひ読んでいただき、不安な時、困った時に、読み返していただきたいと思います。

青少年育成室



「まめ本の作り方」✂

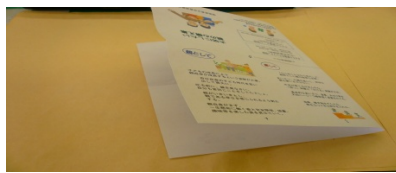
(1) PDF ファイルをプリンターで印刷します。

【ポイント】「ふちなし全面印刷」「ページの拡大・縮小なし」で印刷をおすすめ。

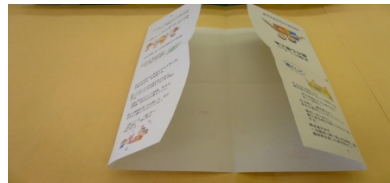
(2) 用紙を縦方向に半分に折ります。



(3) 今度は横方向に半分に折ります。



(4) (3)の折り目に合わせて、用紙の両端を内側に折ります。



(5) いったん用紙を開き、中心の線に近い折り目部分を☆から☆までカッターで切ります。



【ポイント】☆や点線は目安です。折り目部分をカッターで切ると仕上がりがきれいです。

(6)(2)～(4)の折り目を再度折って、表紙が上に来るよう形を整えます。



できあがり！



一緒につくる。一緒に歩く。
一緒に読む。一緒に見る。
一緒に考える。

他人や家族を思いやる優しさ。自分
がされて嫌なことは人にしない。

自我が芽生えてくる時期、叱るの
は簡単、ほめながら教えていく。

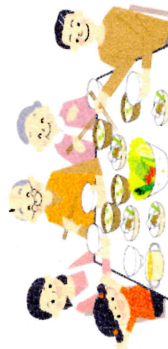
良いことをしたときは皆の前でほめる。
悪いことをしたときは誰もいない所で教え
てやる。

子どもが自分から声をかけたときには、
視線を合わせ、耳を傾ける。



味覚が育つ頃までは、
和食を基本に旬のものを
できるだけ食べさせたい

ご飯を食べるときは絶対に怒らない。楽しい食卓を心がける。



物より思い出。おもちゃよりも体験。
親子でたくさん楽しもう。

失敗はたくさん経験させたい。
自分で気づいたことは、一生もの。

にぎにぎ、ハグハグ、すりすり、
いつでもどこでもスキンシップ。

遊び、会話し、スキンシップをとり、
喜怒哀楽を共にする。

物の豊かさでなく心の豊かさを持ち
しつかりと子どもの心を受け止めて
あげること。

優しく



自分の感情にまかせて
怒らないように気をつける

何でも親がやってしまわず、
自分でできることを自分でやるように。



返事、履き物をそろえる、
席を立つときは椅子を入れる。

不足が育てるがまんのか。
「待つ」「体験と「分ける」体験が大切。
基本的なあいさつ、食事、片付け等を
大切に一つ一つ根気強く言葉をかける。

あいさつ、礼儀を重んじ、卑怯な
振る舞いをさせない。

「ならぬことはならぬ」と、
毅然とした親の態度も必要。

厳しく



＜相談窓口＞

子どもと家庭のテレフォン相談
(中央児童相談所)

Tel 024-536-4152

受付時間 9:00～20:00

子どもと家庭メール相談
(中央児童相談所)

メール相談URL

<http://www.pref.fukushima.jp/kosodatesodan/index.html>



福島県青少年育成県民会議

福島市黒岩字田部屋53-5 福島県青少年会館内

電話024-546-0002 FAX024-546-8311



子育てに悩んだら、周りや家族に相談し、一人で悩まない。

隣近所、地域の中で育てられることを大切にす。

家庭はみんなで築くもの。
一人一役、協力・分担で自立の一步を。

親の願いを込めた読み聞かせ。
多忙でも手を休め読んであげたい。

大切にしたい 親の心構え集



福島県青少年育成県民会議

277 親として



子どもの成長により
親自身が成長するという姿勢が大事。

自分自身の子どもの時代を思い
出して寛大に。

叱る前に、鏡を見なさい。
自分も昔同じことをしてたでしょ。

親がいきいきとし、
親である幸せを感じられるよう努力
する。

親自身がまず、
一生懸命に働く姿と交友関係、読書、
趣味等を楽しむ姿を見せていく。